

台風10号における早明浦ダムの洪水調節効果について

今回の台風10号は、進行速度が遅く長時間にわたり雨が断続的に降り続きました。

早明浦上流域では8月17日7時から降り始め、総雨量337mm(流域平均値)を記録しました。

この降雨により、早明浦ダム(高知県)に貯水池には最大で毎秒約1,470 m^3 、約6,442万 m^3 の洪水の流入がありました。

これに対して早明浦ダムでは、ダムからの放流量を最大毎秒約676 m^3 として約4,745万 m^3 の水量をダム貯水池に貯め込み、下流地域への被害軽減に努めました。

この結果、早明浦ダムでの洪水調節による水位低減効果は、早明浦ダム下流本山橋付近(高知県本山町)で約1.6mです。

平成18年08月19日

国土交通省 吉野川ダム統管理事務所
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

お問い合わせ先

○国土交通省 吉野川ダム統管理事務所
管理課長 片岡 章三(内線331)
(TEL) 0883-72-3000

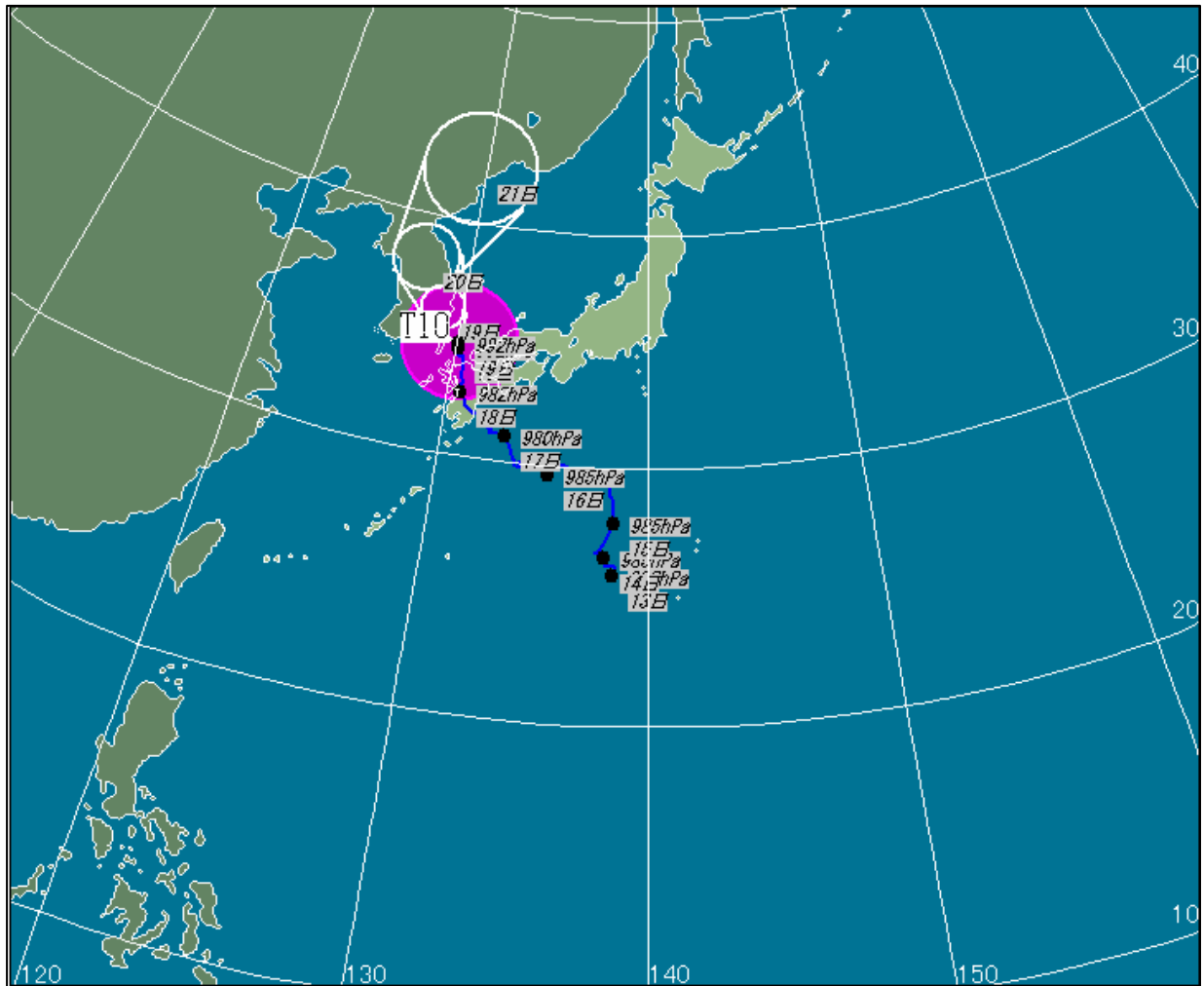
○独立行政法人水資源機構 池田総合管理所
第一管理課長 宮内 茂行(内線331)
(TEL) 0883-72-2050

注) 本資料における数値については、平成18年8月19日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

①台風状況

8月13日に太平洋沖で発生した台風10号は、非常にゆっくりとした速度で迷走しながら、8月18日午前1時すぎに宮崎市付近に上陸し、8月19日の午前4時すぎに福岡市から日本海に抜けました。

上陸後も進行速度が遅かったため、九州・四国地方に長時間にわたり、大雨をもたらしました。



8月19日 11時現在

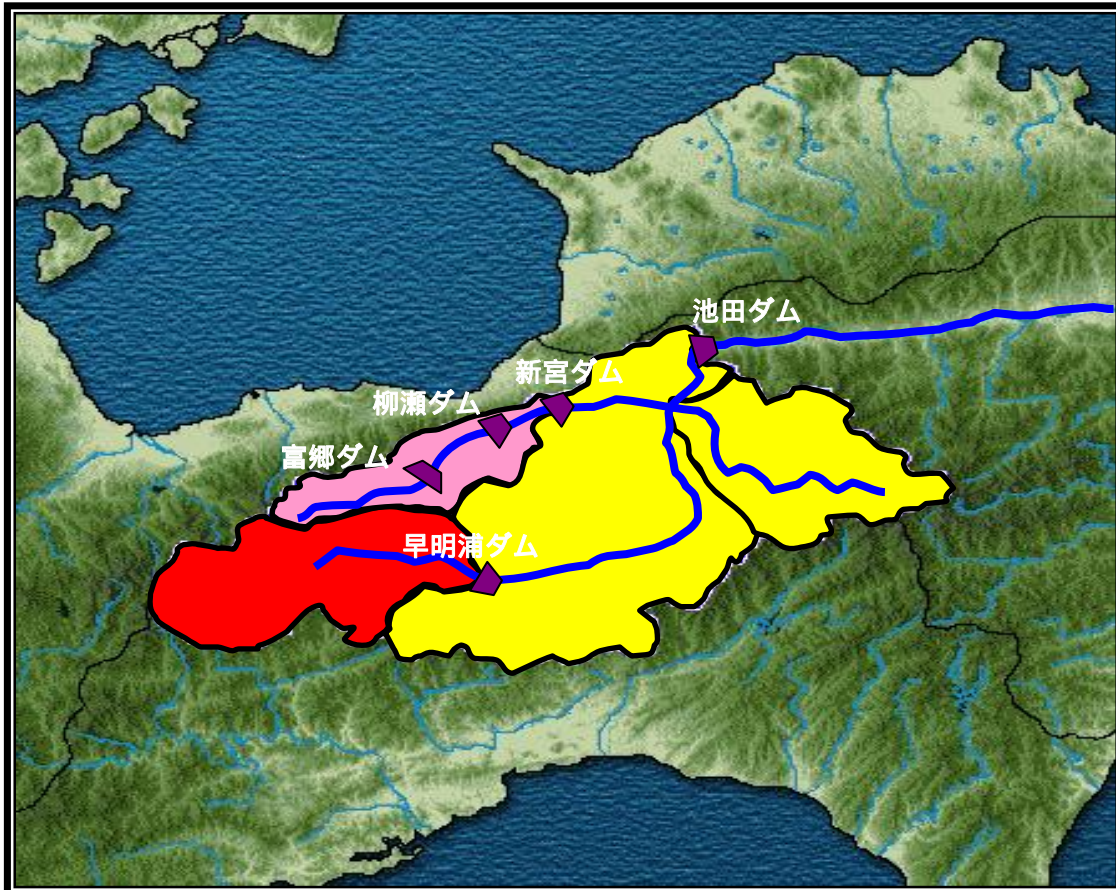
②降雨状況

◆ 吉野川における流域平均雨量 ◆

	吉野川 (早明浦上流域)	吉野川 (早明浦下流域)	吉野川 (池田全流域)	祖谷川 (祖谷川流域)
降り始め	8月17日07時	8月17日02時	8月17日01時	8月17日01時
総雨量(mm)	337 mm	171 mm	212 mm	156 mm
時間最大雨量	8月19日 02時～03時 50 mm	8月18日 16時～17時 42 mm	8月19日 02時～03時 50 mm	8月18日 23時～00時 21 mm
時間最大雨量観測所	黒丸	溜井	黒丸	東祖谷

◆ 銅山川における流域平均雨量 ◆

	銅山川 (富郷上流域)	銅山川 (富郷～柳瀬流域)	銅山川 (柳瀬～新宮流域)	銅山川 (新宮全流域)
降り始め	8月17日07時	8月17日01時	8月17日11時	8月17日01時
総雨量(mm)	292 mm	213 mm	123 mm	232 mm
時間最大雨量	8月19日 02時～03時 34 mm	8月18日 20時～21時 27 mm	8月18日 18時～19時 16 mm	8月19日 02時～03時 34 mm
時間最大雨量観測所	保土野	上猿田	中ノ川	保土野



総雨量図

凡 例

	: 300 mm 以上
	: 200 mm ~ 300 mm
	: 100 mm ~ 200 mm
	: 50 mm ~ 100 mm

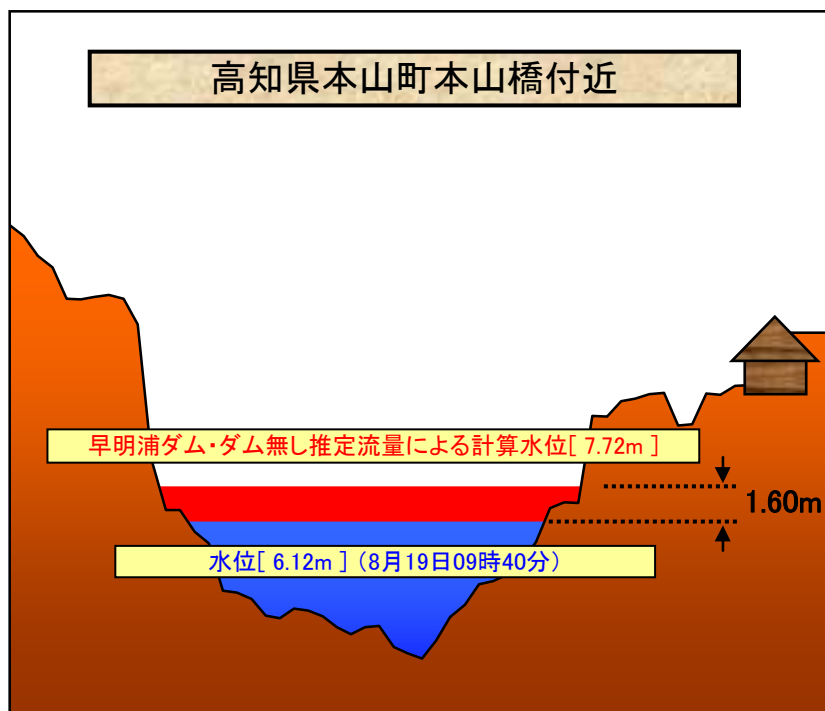
③ダム諸量

	早明浦ダム
洪水流量	800 m ³ /s
最大流入量	約1,470 m ³ /s
観測時間	8月19日04時20分
最大流入時放流量	約85 m ³ /s
最大流入時調節量	約1,385 m ³ /s
ダム貯留量	約4,745 万m ³

④ダム最大流入時の洪水調節効果

■本山橋付近（高知県本山町）

※川幅約150mの河川に対し約1.6mの水位低減が図れた。



(本山橋水位観測所)

・吉野川 早明浦ダム（高知県）

早明浦ダム諸元（洪水期）

総貯水容量：31,600万 m^3

洪水調節容量：9,000万 m^3

吉野川水系吉野川においては、早明浦ダムで約1,385 m^3/s
 （最大流入量約1,470 m^3/s 放流量約85 m^3/s ）
 を調節しており約4,745万 m^3 の洪水を貯留し、下流の水位低減に寄与した。

